

事務事業 No./名称	■サービス部門 まち-12 緑地保全事業 □支援部門						
主管課	みどり課	関連課					
分野名	みどり						
目標 (目標値)	美観上優れた樹木・樹林・生け垣の指定や、秩序ある市街地形成に必要な樹林地の所有者と緑地保全契約を締結し、緑地を保全する。						
人口等のデータ	データ区分	25年度	24年度	23年度	備考 ・各年4月1日 (住民基本台帳)		
	人口	177,895人	177,224人	177,204人			
	世帯数	80,295世帯	79,669世帯	79,217世帯			
	事業の対象者数						
運営資源状況	決算値(千円)	38,595	45,682	53,983			
	(国・県)	1,346	1,696	2,190			
	(負担金等)						
	(一般財源)	37,249	43,986	51,793			
	人員配置数	2.1人	2.1人	2.1人			
	人件費(千円)	16,244	16,977	18,693			
事務事業 運営経費	総事業費(千円)	54,839	62,659	72,676			
	市民1人当りの経費(円)	308	354	410			
	対象者1人当りの経費(円)						
ベンチマーク(県内外自治体や民間団体との比較値)	団体名⇒						
指標	評価	年度	22年度	23年度	24年度	25年度	最終年度(27年度)
		目標値					
◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退		実績値					

中事業に含まれる小事業の方向性(⇒個別事業の概要は裏面)

(千円)

H25小事業名	H25決算値	H26小事業名	H26予算額	A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止				
緑地保全基金積立金	3,066	緑地保全事業	38,413	今後の方向性	B	理由・手法	・厳しい財政状況のもと、保存樹林等の奨励金の額を引き下げ、事業の継続に努める。 ・緑地保全基金の充実を図る。	
保存樹林等奨励事業	35,529			今後の方向性		理由・手法		
				今後の方向性		理由・手法		
				今後の方向性		理由・手法		

中事業の評価(事務事業の課題、取組状況、今後の方向性)

H25年度の課題	・平成22年度以降、厳しい財政状況により、緑地保全基金への市費積立を行ってないことに加え、第2次一括法による近郊緑地特別保全地区の買入れ事務の県から市への事務移譲に伴い財政負担の増大があったことから、緑地保全事業への影響がある。 ・保存樹林等の奨励金については、緑地保全等にかかる補助金の見直しを行っており、これまでの実績と緑の基本計画に基づく施策の進捗を踏まえて、より効果的な制度運用の方向性を検討する必要がある。						
課題解決のための取組	・緑地保全基金については、市広報、ホームページ、ツイッター等を用いて、広く寄附を呼びかけ、多くの寄附をいただくための取組を進めた。 ・保存樹林等の奨励金については、土地所有者へのアンケートの取りまとめや毎年の予算削減の結果、新アクションプログラム掲載の考え方は異なるが、財政効果の面では既に目標を達成したため、新たな制度運用の取組を一旦終了する方針とした。					取組の結果	■解決 □未解決
未解決の課題	・緑地保全基金については、厳しい財政状況により平成22年度から市費の積立ができていない状況にあり、毎年、基金残高が減少している。現状では後期実施計画への影響はないと考えているが、第2次一括法の施行により、近郊緑地特別保全地区の行為の許認可事務等が市に移譲されたため、不許可処分に伴う土地買入れが見込まれることから基金への影響がある。						
中事業の評価	適切=○要改善=△(2面「評価の視点」を参照)		➡	①効率性 ○	②妥当性 ○	③有効性 ○	④公平性 ○
今後の方向性 (課題解決に向けた取組・H26予算への反映)	・緑地保全等に資する土地所有者への支援を、引き続き実施する。 ・緑地保全に係る事業に影響がないよう配慮しながら、総合的な行財政の枠組みの中で、市費積立を行う等、緑地保全基金の充実にも努め、市民や企業等、国・県とも連携し、緑の基本計画実現に向けた施策を推進する。					➡	B
※□事業完了							

評価者名

みどり課長

川名 達哉

(2面) 小事業・個別事業の評価

評価のポイント

評価の視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。	②妥当性	事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。
	③有効性	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した場合影響があるか。	④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。

(単位:千円)

小事業名	事業概要				【小事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△				
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
緑地保全基金積立金	緑地保全事業の円滑な推進を図るための寄附金等基金への積立事務				○	○	○	○	
	主な個別事業	ザイムコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△			
						①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
		308	緑地保全基金積立金	1,500	1,346	○	○	○	○
		308	緑地保全基金利息等積立金	2,953	997	○	○	○	○
308	緑地保全基金寄附金積立金	1,500	723	○	○	○	○		
※□	事業完了								
保存樹林等奨励事業	確保緑地の適正整備事業、市民緑地愛護会報償金、保存樹木等の指定及び緑地保全契約者に対する奨励金交付事務				△	○	△	○	
	主な個別事業	ザイムコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△			
						①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
		306	市民緑地愛護会報償金	30	30	○	○	○	○
		306	確保緑地の適正整備委託料 5件	5,000	2,206	○	○	○	○
673		保存樹林奨励補助金	17,603	16,828	△	○	△	○	
673	保存樹木奨励補助金	621	612	○	○	○	○		
673	保存生垣奨励補助金	1,035	883	○	○	○	○		
306・673	緑地保全契約奨励補助金	15,816	14,970	△	○	△	○		
※□	事業完了								
	事業概要				【小事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△				
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
	主な個別事業	ザイムコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△			
						①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
※□	事業完了								
	事業概要				【小事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△				
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
	主な個別事業	ザイムコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△			
						①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
※□	事業完了								
	事業概要				【小事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△				
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
	主な個別事業	ザイムコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△			
						①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
※□	事業完了								